

日本航空公司高雄營業處 函



地址:高雄市 800 中正三路 2 號 4 樓

電話:07-238-7116

承辦人:日本航空總務部 劉麗珉

10701F1010586

受文者 :如收件單位

發文日期 :中華民國 107 年 01 月 11 日

發文字號 :日航高外發(107)字第 002 號

附件 :預定行程表、報名表、日文說明書、聯合國發表之 17 個永續發展目標中文及日文資料

主旨 :謹送「2018 年 JAL SCHOLARSHIP 日本研究 PROGRAM」甄選大學生赴日參加研習活動報名表格式(如附件),敬請 惠允推薦優秀學生參加甄選。

說明 :

一、活動宗旨:增進亞洲及大洋洲各國學習日語之大學生對日本的深入了解,促進國際文化交流,期許能成為中日文化交流之橋樑,並積極分享所學,對社會有所貢獻。

請注意:茲因此活動為亞洲及大洋洲地區同時舉辦之大學生甄選活動,故赴日研修時間有可能與台灣地區各校之期末考期間重疊,懇請參加同學自行斟酌情況並祈踴躍報名參加。

二、主辦單位:公益財團法人 JAL 財團

三、協辦單位:日本航空公司

四、赴日期間: 2018 年 06 月 25 日(一)至 07 月 17 日(二)共 23 日
(如遇特殊狀況,將更改日期,敬請諒解)

五、台灣南部地區甄選人數: 1 名

六、參加資格:

(一)彰化以南(彰化縣市、雲林縣、嘉義縣市、台南市、高雄市、屏東縣市、台東縣市)對日本有興趣之大學、研究所在學學生(2018 年參加研修時仍具在學資格者為限)。

(二) 20 歲以上、25 歲以下、中華民國國籍、品行良好、身體健康、積極進取、有團隊精神、日語能力檢定 2 級合格者。

七、注意事項:

(一) 獲選同學赴日研修時,須搭乘主辦單位指定之航空公司班機。如因個人因

中華民國 壹零柒年 壹月 拾貳日

- 素，希望更改赴日及歸國日期、班機，概不受理。
- (二)赴日研修前，會由主辦單位提出事前課題檢討、及赴日研修結束後之心得報告，參加同學須於主辦單位限定之期間內繳交。
- (三)獲選同學赴日研修時，須全程參加研修行程，且積極參與活動，嚴守紀律。研修歸國後，能活用所知，貢獻所學。

八、報名辦法：

- (一)參加同學提出以 600 字稿紙 2 張繕寫整齊的 1200 字以內之日文小論文(限定以日文書寫)

題目：“持続可能な社会へ“

～持続可能な社会を目指して。考えよう、今の社会のために、そして将来世代のために私たちができること～

説明:2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」にて記載された 2016 年から 2030 年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための 17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)ことを誓っています。17 のゴールの中から一つを選び、論文を作成頂きます。

http://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounders/15760/

聯合國發表之 17 個永續發展目標，請參考以上網址及附加之中文、日文資料。(請將自己的想法具體表達出來，請勿引用書籍或網路上之內容。)

- (二)參加同學填妥報名表後，附上日語能力檢定 2 級合格證書影本及日文小論文，以郵寄方式寄至：(800)高雄市新興區中正三路 2 號 4 樓/日本航空高雄營業處總務部/劉麗珉

- 九、報名截止日期：2018 年 03 月 07(星期三)截止收件，郵戳為憑。
一律以學校為單位，每校推薦名額(含研究所)最多合計 3 名。


- 十、評選方式：第一次書面審查合格者，將個別通知參加面試。

- 十一、面試日期：2018 年 03 月 15 日(星期四)(時間將另行通知)
面試地點：高雄市中正三路 2 號 4F/日本航空公司 高雄營業處

- 十二、公佈日期：2018 年 03 月 19 日(星期一)之前將個別通知。

- 十三、經費：赴日之機票及期間之住宿、餐飲、交通費用及海外旅行平安保險等(不包括私人花費)，均由主辦單位負擔。

正本：國立成功大學、國立中山大學、國立中正大學、國立高雄師範大學、
國立彰化師範大學、國立嘉義大學、國立高雄大學、國立雲林科技大學、
國立屏東科技大學、國立高雄第一科技大學、國立高雄應用科技大學、
國立台東大學、國立虎尾科技大學、國立高雄海洋科技大學、
國立台南藝術大學、國立台南大學、國立屏東大學、國立高雄餐旅大學、
私立大葉大學、私立義守大學、私立高雄醫學大學、私立南華大學、
私立南台科技大學、私立崑山科技大學、私立嘉南藥理大學、
私立樹德科技大學、私立輔英科技大學、私立長榮大學、
私立正修科技大學、私立建國科技大學、私立台灣首府大學、
私立台南應用科技大學、私立高苑科技大學、私立實踐大學
私立文藻外語大學、私立遠東科技大學、私立大仁科技大學、
私立中華醫事科技大學、私立和春技術學院、私立中州科技大學、
私立環球科技大學、私立吳鳳科技大學、私立美和科技大學、
私立稻江科技暨管理學院、私立明道大學、私立南榮科技大學、
私立東方設計大學、私立大同技術學院、國立台南護理專科學校、
私立樹人醫護管理專科學校、私立慈惠醫護管理專科學校、
私立敏惠醫護管理專科學校、私立高美醫護管理專科學校、
私立育英醫護管理專科學校、私立崇仁醫護管理專科學校、
國立台東專科學校、私立中信金融管理學院

處長 北村 克紀 

2018 JAL スカラシッププログラム予定表 (案)

DATE	Day	Date	Plan
1	6/25	月	各国より到着 (羽田、成田)→福岡→宗像市
2	6/26	火	宗像市
3	6/27	水	宗像市
4	6/28	木	宗像市
5	6/29	金	宗像市→福岡→東京→小松→白山市
6	6/30	土	白山市
7	7/1	日	白山市 <u>(白山ホームビジット)</u>
8	7/2	月	白山市→金沢市
9	7/3	火	金沢市
10	7/4	水	金沢市
11	7/5	木	金沢市
12	7/6	金	金沢市
13	7/7	土	金沢市 アジアフォーラムin石川 <u>(金沢市ホームステイ)</u>
14	7/8	日	金沢市 <u>(金沢市ホームステイ)</u>
15	7/9	月	金沢市→小松→東京
16	7/10	火	東京
17	7/11	水	東京
18	7/12	木	東京
19	7/13	金	東京
20	7/14	土	JALスカラシッププログラム公開シンポジウム <u>(東京ホームステイ)</u>
21	7/15	日	東京 <u>(東京ホームステイ)</u>
22	7/16	月	<u>(東京ホームステイ)</u> 夜：修了式 修了証書授与式 フェアウェルパーティ
23	7/17	火	成田・羽田より帰国



国際連合広報センター

United Nations Information Centre

持続可能な開発サミット: 人々と地球のために、私たちの世界を転換させよう (2015年9月25-27日) 概要

プレスリリース 15-082-J 2015年09月17日

誰も置き去りにしない、新たな持続可能な開発アジェンダ

9月25日から27日にかけて、ニューヨークの国連本部で開催される「国連持続可能な開発サミット」には、161の加盟国の首脳が出席し、新たな野心的な持続可能な開発アジェンダを採択することになっています。この重要なアジェンダは、国際社会と各国政府が、今後15年間の繁栄と福祉の共有を促進するための出発点となるものです。



潘基文 (潘・ギムン) 国連事務総長は8月2日、サミットの成果文書に関する加盟国のコンセンサスができたことを受け、今回の合意が「私たちの世界にとって歴史的な転換点が生じたことを告げる普遍的、画期的かつ統合的なアジェンダを含んでいる」ことを明らかにしました。

「これは『人民のアジェンダ』であり、あらゆる場所のあらゆる次元で貧困に終止符を打ち、誰も置き去りにしないための行動計画となります」事務総長はこのように述べています。

193の国連加盟国が合意したアジェンダ案「Transforming Our World: 2030 Agenda for Sustainable Development (私たちの世界を転換する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ)」は、宣言、17の持続可能な開発目標と169項目のターゲット、実施手段と新たなグローバル・パートナーシップに関するセクション、および、再検討とフォローアップの枠組みから構成されています。

このアジェンダは、貧しい国、豊かな国、中所得国を含め、あらゆる国々の行動を求める、独創性に富むものです。また、貧困に終止符を打つためには、経済成長を實現し、教育や保健、社会保障、雇用機会を含む幅広い社会的ニーズに対応する一方で、気候変動や環境保護にも取り組む計画が必要だという認識を示しています。さらに、不平等やインフラ、エネルギー、消費、生物多様性、海洋、産業化といった問題も取り扱っています。

この新しい持続可能な開発アジェンダは、エチオピアのアディスアベバで最近開催された「開発資金会議」の成果を土台としています。また、今年12月にパリで行われる新たな有意味かつ普遍的な気候協定に関する交渉にも好影響を与えることが期待されています。

人々と地球のためのグローバルな行動に向けた政府間協議プロセス

史上最大の成功を収めた貧困対策運動のきっかけとなった「ミレニアム開発目標 (MDGs)」は、世界のリーダーが9月、採択する新たな持続可能な開発アジェンダのたたき台となっています。

1992年にブラジルのリオデジャネイロで開催された「国連環境開発会議 (地球サミット)」以来、世界は人間の福祉を實現する新たな経路として、持続可能な開発の道を歩むことを明らかにしました。「アジェンダ21」で提示された持続可能な開発という理念は、経済開発と、人々のニーズを充足し、環境を守る成長とのバランスをとらなければならないことを認識するものでした。

新たな持続可能な開発アジェンダは、2002年の「持続可能な開発に関する世界首脳会議」の成果、2010年の「MDGsサミット」、2012年の「国連持続可能な開発会議 (リオ+20)」の成果、および、全世界の人々が示した見解を基に策定されています。

各国はMDGsの成功を認識し、リオ+20の成果文書「私たちが望む世界」の中で、一連の持続可能な開発目標を策定し、検討と適切な行動を仰ぐためのオープン・ワーキング・グループの設置に合意しました。

オープン・ワーキング・グループは1年以上に及ぶ包摂的かつ集中的な協議の末、17の具体的な目標と、これに関連する169項目のターゲットを提案しました。

2年以上にわたって行われた目標の内容に関する政府間交渉には、市民社会その他のステークホルダーからも数多くの意見が寄せられました。包摂的で透明性のある協議の結果、8月2日には、新たな持続可能な開発アジェンダに関する成果文書についてコンセンサスが成立しました。

この新しいアジェンダは、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」で、世界のリーダーが正式に採択することになります。

持続可能な開発目標

- 目標1 あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- 目標2 飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する
- 目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

- 目標4 すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する
- 目標5 ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る
- 目標6 すべての人々に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する
- 目標7 すべての人々に手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する
- 目標8 すべての人々のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワークを推進する
- 目標9 レジリエントなインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、イノベーションの拡大を図る
- 目標10 国内および国家間の不平等を是正する
- 目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、レジリエントかつ持続可能にする
- 目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- 目標13 気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る
- 目標14 海洋と海洋資源を持続可能な開発に向けて保全し、持続可能な形で利用する
- 目標15 陸上生態系の保護、回復および持続可能な利用の推進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止および逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る
- 目標16 持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する
- 目標17 持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

* * * * *

関連リンク： 持続可能な開発目標ファクトシートは[こちら](#)をご覧ください。

Copyright © UNIC, All Rights Reserved.

永續發展目標

- 目標 1. 消除各地一切形式的貧窮
- 目標 2. 消除飢餓，達成糧食安全，改善營養及促進永續農業
- 目標 3. 確保健康及促進各年齡層的福祉
- 目標 4. 確保有教無類、公平以及高品質的教育，及提倡終身學習
- 目標 5. 實現性別平等，並賦予婦女權力
- 目標 6. 確保所有人都能享有水及衛生及其永續管理
- 目標 7. 確保所有的人都可取得負擔得起、可靠的、永續的，及現代的能源
- 目標 8. 促進包容且永續的經濟成長，達到全面且有生產力的就業，讓每一個人都有一份好工作
- 目標 9. 建立具有韌性的基礎建設，促進包容且永續的工業，並加速創新
- 目標 10. 減少國內及國家間不平等
- 目標 11. 促使城市與人類居住具包容、安全、韌性及永續性
- 目標 12. 確保永續消費及生產模式
- 目標 13. 採取緊急措施以因應氣候變遷及其影響
- 目標 14. 保育及永續利用海洋與海洋資源，以確保永續發展
- 目標 15. 保護、維護及促進領地生態系統的永續使用，永續的管理森林，對抗沙漠化，終止及逆轉土地劣化，並遏止生物多樣性的喪失
- 目標 16. 促進和平且包容的社會，以落實永續發展；提供司法管道給所有人；在所有階層建立有效的、負責的且包容的制度
- 目標 17. 強化永續發展執行方法及活化永續發展全球夥伴關係

2018 JAL スカラシッププログラム アプリケーション

記入日 年 月 日

写真
JPEG 形式
でデータ貼付
(参加者名簿, 報告書で
皆さんと共有できるお写真を
お願いします。)

基本情報

名前(パスポート表記) Print name as in Passport

ローマ字

Tick Either ☐ 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)
☐ Full Name

カタカナ

姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

漢字 Kanji

(if any) 姓 Surname 名 Given Name Middle Name (if any)

プログラム中に呼んでほしいニックネーム

国籍

性別 ☐ 男 ☐ 女

生年月日

年齢

月 MM / 日 DD / 年 YY

パスポート番号

Date of Expiry:

現住所 (郵送に使用いたします。国名から郵便番号まで含めて、自宅のご住所を明確に記入してください。カタカナ使用不可。)

Print in English

(郵便番号 Zip-code :) Country/Region

電話 : (国/地域番号) +

FAX : (if Any) +

E-mail Address :

Any other Addresses for last minute communication before departure

(Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, etc.) :

緊急時の母国の連絡先:

名前 _____ 続柄 _____

住所 _____

電話(国番/地域番号)+ _____ FAX(If Any)+ _____

E-mail Address: _____

Skype ID, Wechat ID, Facebook, Line, Weibo, (for emergency contact)

学校名 _____ 学年 _____

専攻 _____

母国語 _____

日本語能力

日本語検定 () 級 (年)

日本語履修暦

英語能力 (参考)

TOEIC () 点 TOEFL () 点

☐ 討論ができる

☐ 日常会話ができる

☐ 片言

その他の外国語 (参考)

☐ 討論ができる

☐ 日常会話ができる

☐ 片言

☐ 討論ができる

☐ 日常会話ができる

☐ 片言

☐ 討論ができる

☐ 日常会話ができる

☐ 片言

健康状態

☐ 良い ☐ あまりよくない

常用の薬の有無 ☐ ある ☐ ない

(ある場合、具体的に記入) _____

アレルギー ☐ ある ☐ ない

(ある場合、具体的に記入)

☐ ペット _____

☐ 医薬品 _____

☐食 物 _____
☐その他 _____

食事制限の有無 ☐ある ☐ない (本プログラムの内容上、希望に添えない場合があります)

ある場合、具体的に記入してください。

<例： 豚肉、海老、卵、乳製品（ミルク、バター、チーズ）>

☐宗教上の理由 _____
☐アレルギー _____
☐その他 _____

好きな食べ物 _____

嫌いな食べ物、日本食で食べられない物 _____

飲酒 ☐お酒を飲む ☐お酒を飲まない

喫煙 ☐煙草を吸う ☐煙草を吸わない

ペットは好きですか？ ☐はい ☐いいえ

いいえの場合、具体的に ☐犬 ☐猫 ☐その他 _____

★「健康状態」以下、「食事制限」、「食事好き嫌い」、「飲酒」「喫煙」などの質問項目は、日本での受け入れ準備に必要な情報であり、スカラー採用の可否には直接関係いたしませんので、正確なご記入をお願いいたします。

海外旅行経験

時期・期間	国名	目的
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____

趣味・特技

将来の希望（職業など）

日本について興味のあること

日本滞在中に学びたいこと、知りたいこと

自己 PR

2018 JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

The 49th Program



プログラムテーマ

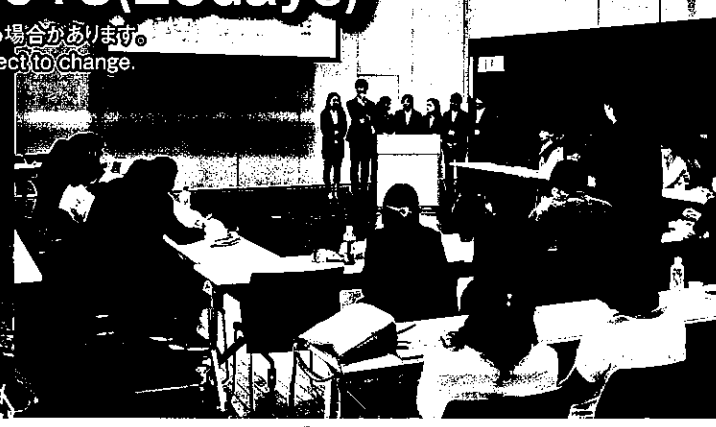
SDGs ー持続可能な社会へー

持続可能な開発を目指して。考えよう。いまの社会のために、そして将来世代のために私たちができること

For achieving the Sustainable Development Goals,
let's think what we can do towards the next generation.

25 JUN ~ 17 JUL, 2018 (23 days)

※日程は予定であり、変更になる場合があります。
The Schedule may be subject to change.



JAL SCHOLARSHIP PROGRAM

主催 JAL FOUNDATION 協賛 (株) JAPAN AIRLINES

<http://www.jal-foundation.or.jp/>

主催: JAL FOUNDATION
公益財団法人JAL財団

協賛: JAL JAPAN AIRLINES

協力: JAPAN FOUNDATION

後援(予定): 国土交通省、外務省、文部科学省、石川県、金沢市、白山市



2018 JAL Scholarship Program

1.開催期間：2018年6月25日(月)～7月17日(火) 計23日間

※実施期間、日程は若干変更となる可能性があります。

2.2018JALスカラシッププログラム 開催テーマ

SDGs ー持続可能な社会へー

持続可能な開発を目指して。考えよう、いまの社会のために、そして将来世代のために私たちができること

3.内容：日本語プログラム

① オープニング・クロージングセミナー

オープニングセミナーでは、このプログラムにおいて参加学生に考察してもらう課題と考察のためのヒント等を提示します。

クロージングセミナー（東京開催）では、参加学生にプログラム全日程において考察した課題に関する成果を発表していただきます。

② フィールドトリップ

日本人学生も交えての実地踏査、取材やインタビュー等を通じて、プログラムメインテーマについて考えていただきます。

③ 学生セッション、グループ討議

日本人学生と混合でグループに分かれ、フィールドトリップの成果等を踏まえてグループディスカッションをしていただきます。

④ アジアフォーラムin石川

石川県において行うフィールドワーク、日本人学生とのセッション、グループ討議の成果を公開シンポジウム場で発表していただきます。

⑤ ホームステイ（東京、金沢）

日本の家庭で過ごすことにより、日本人の生活習慣や行動様式等について理解を深めていただきます。

2018 JAL Scholarship Program

1.Period：25JUN(MON)～17JUL(TUE),2018 (23days)

The Schedule may be subject to change.

2.The main theme of the 2018JAL Scholarship Program

Let's think about the Sustainable Development Goals

For achieving the Sustainable Development Goals, let's think what we can do towards the next generation.

3.Program Contents：Japanese Program

1. Opening Seminar & Closing Seminar

Both seminars will be held in Tokyo. The participants will acquire and develop comprehensive knowledge and a clear understanding of this program's theme.

2. Field Work

Field Work consists of visits to various facilities and historic sites, joint field surveys with Japanese students, and interviews with local people. We will provide participants chances to visit actual field site so that they can increase their awareness of Japan.

3. Students Session & Group Discussion

The participants will form groups mixed with Japanese students to conduct group discussions and surveys for specific agendas.

4. "Asia Forum" (Ishikawa Prefecture)

This forum will consist of lectures and a public symposium. The students will give presentations based on their Field Work, Student Session and Group Discussion.

5. Home stays (Tokyo & Ishikawa Prefecture)

The participants will deepen their knowledge and understanding of Japanese customs and ways of life by experiencing Japanese lifestyles first-hand.



3.費用について

参加者の個人的費用(電話代、土産物費用など)を除く、以下の費用は財団が負担・提供します。

- ①航空券(参加者の居住地の最寄りのJAL便就航地と東京間の往復券)
- ②日本国内で必要な交通費
- ③宿泊費
- ④飲食費(宿泊施設等より提供するが、若しくは、食費を支給)
- ⑤海外旅行傷害保険(盗難、手荷物の破損・紛失、怪我、病気等による入院、通院、死亡保障など)保険料

JAL スカラシッププログラムとは

JALスカラシッププログラムは、毎年、アジア・オセアニアの大学・大学院生を日本に招待し、研修や文化交流を通じて日本への理解や、国境を越えた相互理解を深めて頂き、また将来のアジア・オセアニア地域を担う若者へと育成することを目的として開催しております。

このプログラムは1975年に日本航空によって創設され、1990年に発足したJAL財団がその運営を引き継ぎ、時代のニーズを反映しながら内容の充実を図りつつ、これまでに1590名の学生をお迎えしております。なお、その卒業生の多くが、広く世界で活躍されております。



3.Expenses

The following expenses, not including personal expenses (e.g. telephone and souvenirs), will be paid by the sponsor and supporting organizations:

- ① Economy class airfare on Japan Airlines between Tokyo and the airport nearest to the student's residence served by JAL
- ② All transportation in Japan during the official program, including domestic air/rail travel to cities outside Tokyo
All accommodation and meals
- ③ Travelers' accident insurance

(Note: Japanese entry visa fee, when applicable, must be paid by the participating students.)

What is JAL Scholarship Program?

The JAL Scholarship Program invites college students from across Asia and Oceania to Japan every year and provides them with opportunities for workshops and cultural interchange. Through these activities, the Program aims to enhance their understanding beyond national borders. This Program also aims to develop young men and women who will assume future leadership role in the region.

The Program was launched in 1975 by Japan Airlines. The JAL Foundation took over the management of the Program when it was established in 1990, and has been working to improve its content each year, in tune with the needs of the times. A total of 1,590 students overseas have participated in the Program so far, and many alumni are playing active role in the international community.



5. 募集地域・人数・選定プロセスなど

2018 JALスカラシッププログラムでは、下記の国・地域で日本語を学ぶ大学生・大学院生（原則として各国・地域1名）を日本に招待します。

（招待国・地域一覧）

韓国（ソウル、プサン）、中国（北京、大連、天津、上海、広州、香港）、台湾（台北、高雄）、フィリピン、ベトナム（ハノイ、ホーチミン）、タイ、カンボジア、ラオス、ミャンマー、マレーシア、シンガポール、インドネシア、インド、オーストラリア、グアム。

（選考プロセス）

参加者の選考は各国・地域の日本航空支店に委託しております。メインテーマに関して作成・提出して頂いた日本語小論文の審査と面接により選考することを基本としますが、選考プロセスは各国・地域により異なる場合があります。



5. Process of application

The 2018 Program invites university students who are studying the Japanese language in the following countries and regions. In principle, one student per city will be selected from the respective country or region.

（Countries and regions participating in the Program）

Korea (Seoul, Busan)、 China (Beijing, Dalian, Tianjin, Shanghai, Guangzhou, Hong Kong), Taiwan (Taipei, Gaoxiong), Philippines, Vietnam (Hanoi, Ho Chi Minh City), Thailand, Cambodia, Laos, Myanmar, Malaysia, Singapore, Indonesia, India, Australia, Guam.

（Selection Process）

Selection of the students will be entrusted to Japan Airlines branch offices in the respective countries and regions. Accordingly, the selection process may differ depending on the country and region; however, the basic method will be an essay in Japanese on the main theme as well as interviews.



世界各地域によって、募集形態が異なっております。詳細につきましては、このパンフレットをお渡しした各組織にお問い合わせ下さいませようお願い申し上げます。

お問い合わせは、e-mailにて、以下の日本航空各支店でも承ります。

Selection of the students is entrusted to Japan Airlines branch offices in the respective countries and regions. So selection process may differ depending on the country and region. Please refer to the distributing organization for the detail of how to apply. Only in case you can't reach the selecting committee, you can contact the following Japan Airlines branch offices.

Japan Airlines branch offices

■韓国 : eun-kyung.lee@jal.com

■中国

北京 : org.bjsssu.jali@jal.com

大連 : org.dlcku.jali@jal.com

天津 : haruko.namiki@jal.com

上海 : org.shassu.jali@jal.com

広州 : org.canskg.jali@jal.com

香港 : org.hkgssp.jali@jal.com

■台湾

台北 : org.tpessg.jali@jal.com

高雄 : org.khhsku.jali@jal.com

■フィリピン : joselina_marie.deyto@jal.com

■ベトナム

ハノイ : org.hansku.jali@jal.com

ホーチミン : org.sgntt.jali@jal.com

■タイ : org.bkkssg.jali@jal.com
(含む カンボジア、ラオス、ミャンマー)

■マレーシア : org.kulssp.jali@jal.com

■シンガポール : sinssg@ml.jal.com

■インドネシア : org.jktssg.jali@jal.com

■インド : delsales@jal.com

■オーストラリア : syd.sales@jal.com

■グアム : emely.leon_guerrero@jal.com

■Korea : eun-kyung.lee@jal.com

■China

Beijing : org.bjsssu.jali@jal.com

Dalian : org.dlcku.jali@jal.com

Tianjin : haruko.namiki@jal.com

Shanghai : org.shassu.jali@jal.com

Guangzhou : org.canskg.jali@jal.com

Hong Kong : org.hkgssp.jali@jal.com

■Taiwan

Taipei : org.tpessg.jali@jal.com

Kaohsiung : org.khhsku.jali@jal.com

■Philippines : joselina_marie.deyto@jal.com

■Vietnam

Hanoi : org.hansku.jali@jal.com

Ho Chi Minh City : org.sgntt.jali@jal.com

■Thailand : org.bkkssg.jali@jal.com
(Incl. Cambodia, Laos and Myanmar)

■Malaysia : org.kulssp.jali@jal.com

■Singapore : sinssg@ml.jal.com

■Indonesia : org.jktssg.jali@jal.com

■India : delsales@jal.com

■Australia : syd.sales@jal.com

■Guam : emely.leon_guerrero@jal.com

